

柏崎刈羽原子力発電所第6号機 設計及び工事計画審査資料	
資料番号	KK6 添-1-060-8 改0
提出年月日	2023年12月19日

VI-1-10-8 設工認に係る設計の実績，工事及び検査の計画

原子炉格納施設

K6 ① VI-1-10-8 R0

2023年12月

東京電力ホールディングス株式会社

1. 概要

本資料は、本文「設計及び工事に係る品質マネジメントシステム」に基づく設計に係るプロセスの実績，工事及び検査に係るプロセスの計画について説明するものである。

2. 基本方針

柏崎刈羽原子力発電所第 6 号機における設計に係るプロセスとその実績について、「設計及び工事に係る品質マネジメントシステムに関する説明書」に示した設計の段階ごとに，組織内外の相互関係，進捗実績及び具体的な活動実績について説明する。

工事及び検査に関する計画として，組織内外の相互関係，進捗実績及び具体的な活動計画について説明する。

適合性確認対象設備ごとの調達に係る管理のグレードと実績について説明する。

3. 設計及び工事に係るプロセスとその実績又は計画

「設計及び工事に係る品質マネジメントシステムに関する説明書」に基づき実施した，柏崎刈羽原子力発電所第 6 号機における設計の実績，工事及び検査の計画について、「設計及び工事に係る品質マネジメントシステムに関する説明書」の様式-1 により示す。

また，適合性確認対象設備ごとの調達に係る管理のグレードと実績について、「設計及び工事に係る品質マネジメントシステムに関する説明書」の様式-9 により示す。

設工認に係る設計の実績，工事及び検査の計画【原子炉格納施設】

各段階	プロセス（設計対象） 実績：3.3.1～3.3.3(5) 計画：3.4.1～3.7.2	組織内外の相互関係 ◎：主担当 ○：関連			インプット	アウトプット	他の記録類	
		本社	発電所	供給者				
設計	3.3.1	適合性確認対象設備に対する要求事項の明確化	◎	—	—	・設置変更許可申請書 ・設置許可基準規則及びその解釈 ・技術基準規則及びその解釈	—	
	3.3.2	各条文の対応に必要な適合性確認対象設備の選定	◎	—	—	・設置変更許可申請書 ・設置許可基準規則及びその解釈 ・安全設計審査指針 ・技術基準規則及びその解釈 ・技術基準を定める省令	・様式-2 ・品質管理の各段階における確認記録（設計の段階）	
	3.3.3 (1)	基本設計方針の作成（設計1）	◎	—	—	・様式-2 ・技術基準規則及びその解釈	・様式-3 ・様式-4	・品質管理の各段階における確認記録（設計の段階）
						・様式-2 ・様式-4 ・実用炉規則別表第二 ・技術基準規則及びその解釈	・様式-5-1	
						・設置変更許可申請書 ・設置許可基準規則及びその解釈 ・技術基準規則及びその解釈	・様式-6 ・様式-7	
・基本設計方針	・様式-5-2							
3.3.3 (2)	適合性確認対象設備の各条文への適合性を確保するための設計（設計2）	◎	—	—	・様式-2 ・様式-5-1 ・様式-5-2 ・基本設計方針	・様式-8の「設工認設計結果（要目表／設計方針）」欄	・品質管理の各段階における確認記録（設計の段階）	

各段階	プロセス（設計対象） 実績：3.3.1～3.3.3(5) 計画：3.4.1～3.7.2	組織内外の相互関係 ◎:主担当 ○:関連			インプット	アウトプット	他の記録類
		本社	発電所	供給者			
	1. 共通的に適用される設計	「原子炉冷却系統施設」参照			「原子炉冷却系統施設」参照	「原子炉冷却系統施設」参照	「原子炉冷却系統施設」参照
	2. 原子炉格納施設の兼用に関する設計						
	2.1 設備に係る設計のためのシステムの明確化及び兼用する機能の確認	◎	—	—	<ul style="list-style-type: none"> ・様式-2 ・様式-5-1 ・様式-5-2 ・基本設計方針 ・設備図書 ・設置変更許可申請書 ・原子炉格納施設の設計条件 	<ul style="list-style-type: none"> ・原子炉格納施設の設計条件に関する説明書 ・機能単位の系統図 ・設定根拠の「(概要)」部分 	—
	2.2 機能を兼用する機器を含む設備に係る設計 <ul style="list-style-type: none"> ① 原子炉格納容器 <ul style="list-style-type: none"> ・原子炉格納容器 ・配管貫通部 ② 原子炉建屋 ③ 原子炉格納容器安全設備 <ul style="list-style-type: none"> ・格納容器スプレイ冷却系 ・格納容器下部注水系 ・原子炉建屋放水設備 ④ 放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備 <ul style="list-style-type: none"> ・非常用ガス処理系 ・可燃性ガス濃度制御系 ・耐圧強化ベント系 ・格納容器圧力逃がし装置 						

各段階	プロセス（設計対象） 実績：3.3.1～3.3.3(5) 計画：3.4.1～3.7.2	組織内外の相互関係 ◎:主担当 ○:関連			インプット	アウトプット	他の記録類
		本社	発電所	供給者			
	⑤ 原子炉格納容器調気設備 ・不活性ガス系 ⑥ 圧力逃がし装置 ・格納容器圧力逃がし装置 ⑦ 汚濁防止膜 ⑧ 小型船舶（汚濁防止膜設置用） ⑨ 放射性物質吸着材 ⑩ ブローアウトパネル						
	2.2.1 兼用を含む原子炉格納施設の機器の仕様等に関する設計	◎	—	○	・設備図書 ・業務報告書 ・機能単位の系統図 ・設定根拠の「(概要)」部分 ・原子炉格納施設の設計条件	・要目表 ・設備別記載事項の設定根拠に関する説明書 ・安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書 ・機器の配置を明示した図面 ・構造図	・仕様書
	2.2.2 各機器固有の設計	◎	—	○	・基本設計方針 ・設備図書 ・設置変更許可申請書 ・設置変更許可時の設計資料 ・既工認 ・非常用炉心冷却設備又は格納容器熱除去設備に係るろ過装置の性能評価等について（内規）	・原子炉格納施設の設計条件に関する説明書 ・原子炉格納施設の水素濃度低減性能に関する説明書 ・圧力低減設備その他の安全設備のポンプの有効吸込水頭に関する説明書	・仕様書

各段階	プロセス（設計対象） 実績：3.3.1～3.3.3(5) 計画：3.4.1～3.7.2			組織内外の相互関係 ◎:主担当 ○:関連			インプット	アウトプット	他の記録類
				本社	発電所	供給者			
5							<ul style="list-style-type: none"> ・業務報告書 ・「非常用電源設備」の様式-1の「2.1 非常用発電装置」において設計した結果 		
		2.3 機能を兼用する機器を含む原子炉格納施設の系統図に関する取りまとめ	◎	—	—	<ul style="list-style-type: none"> ・様式-2 ・様式-5-1 ・様式-5-2 ・機能単位の系統図 	・原子炉格納施設に係る系統図	—	
		3. 原子炉格納施設の設計							
		3.1 原子炉格納容器に係る設計	◎	—	—	<ul style="list-style-type: none"> ・基本設計方針 ・設備図書 ・設置変更許可時の解析結果 ・既工認 ・重要構造物安全評価（原子炉格納容器信頼性実証事業）に関する総括報告書 	・原子炉格納施設の設計条件に関する説明書	—	
		3.2 原子炉格納容器隔離弁に係る設計	◎	—	—	<ul style="list-style-type: none"> ・基本設計方針 ・設備図書 ・原子炉格納施設の設計条件 	・原子炉格納施設の設計条件に関する説明書	—	
	3.3 重大事故等時における原子炉格納容器の放射性物質の閉じ込め機能評価	◎	—	○	<ul style="list-style-type: none"> ・基本設計方針 ・設備図書 ・既工認 ・発電用原子力設備規格 設計・建 	・原子炉格納施設の設計条件に関する説明書	<ul style="list-style-type: none"> ・仕様書 ・解析実施状況調査チェックシート 		

各段階	プロセス（設計対象） 実績：3.3.1～3.3.3(5) 計画：3.4.1～3.7.2	組織内外の相互関係 ◎:主担当 ○:関連			インプット	アウトプット	他の記録類
		本社	発電所	供給者			
					設規格 ・重大事故等時における原子炉格納容器の放射性物質の閉じ込め機能評価に用いる評価温度及び評価圧力 ・自社研等での試験結果 ・業務報告書		
3.4 原子炉格納容器の破損を防止するための水素濃度低減設備の設計							
	3.4.1 可燃性ガス濃度制御系に関する設計	◎	—	○	・基本設計方針 ・設備図書 ・設置変更許可申請書 ・原子炉格納施設の設計条件 ・業務報告書	・要目表 ・設備別記載事項の設定根拠に関する説明書 ・原子炉格納施設の設計条件に関する説明書 ・原子炉格納施設の水素濃度低減性能に関する説明書 ・原子炉格納施設に係る機器の配置を明示した図面 ・原子炉格納施設に係る系統図 ・構造図	・仕様書
	3.4.2 耐圧強化ベント系による水素及び酸素排出に関する設計	◎	—	○	・基本設計方針 ・設備図書 ・設置変更許可申請書 ・業務報告書	・要目表 ・設備別記載事項の設定根拠に関する説明書 ・原子炉格納施設の設計条件に関する説明書	・仕様書

各段階	プロセス（設計対象） 実績：3.3.1～3.3.3(5) 計画：3.4.1～3.7.2			組織内外の相互関係 ◎:主担当 ○:関連			インプット	アウトプット	他の記録類
				本社	発電所	供給者			
							<ul style="list-style-type: none"> 原子炉格納施設の水素濃度低減性能に関する説明書 原子炉格納施設に係る機器の配置を明示した図面 原子炉格納施設に係る系統図 		
		3.4.3 格納容器圧力逃がし装置による水素及び酸素排出に関する設計	◎	—	—	<ul style="list-style-type: none"> 基本設計方針 設備図書 	<ul style="list-style-type: none"> 基本設計方針機器 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書 原子炉格納施設の水素濃度低減性能に関する説明書 	—	
		3.5 原子炉建屋等の損傷を防止するための水素濃度低減設備の設計	◎	—	○	<ul style="list-style-type: none"> 基本設計方針 設備図書 設置変更許可申請書 設置変更許可時の設計資料 業務報告書 	<ul style="list-style-type: none"> 要目表 設備別記載事項の設定根拠に関する説明書 原子炉格納施設の水素濃度低減性能に関する説明書 原子炉格納施設に係る機器の配置を明示した図面 構造図 	<ul style="list-style-type: none"> 仕様書 	
		3.6 真空破壊装置の設計	◎	—	○	<ul style="list-style-type: none"> 基本設計方針 設備図書 業務報告書 	<ul style="list-style-type: none"> 要目表 設備別記載事項の設定根拠に関する説明書 原子炉格納施設に係る機器の配置を明示した図面 構造図 	<ul style="list-style-type: none"> 仕様書 	

各段階	プロセス（設計対象） 実績：3.3.1～3.3.3(5) 計画：3.4.1～3.7.2	組織内外の相互関係 ◎:主担当 ○:関連			インプット	アウトプット	他の記録類
		本社	発電所	供給者			
	4. その他原子炉格納施設に係る設計						
	4.1 放射性物質濃度低減設備の単一故障に係る設備	「原子炉冷却系統施設」参照			「原子炉冷却系統施設」参照	「原子炉冷却系統施設」参照	「原子炉冷却系統施設」参照
	4.2 非常用ガス処理系の設計	◎	—	○	<ul style="list-style-type: none"> 基本設計方針 設備図書 設置変更許可時の設計資料 業務報告書 	<ul style="list-style-type: none"> 要目表 設備別記載事項の設定根拠に関する説明書 原子炉格納施設の水素濃度低減性能に関する説明書 原子炉格納施設に係る機器の配置を明示した図面 原子炉格納施設に係る系統図 構造図 	<ul style="list-style-type: none"> 仕様書
	4.3 ブローアウトパネル関連設備の設計	◎	—	○	<ul style="list-style-type: none"> 基本設計方針 業務報告書 	<ul style="list-style-type: none"> 基本設計方針機器 安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書 	<ul style="list-style-type: none"> 仕様書 解析実施状況調査チェックシート
	4.4 コリウムシールドの設計	◎	—	○	<ul style="list-style-type: none"> 基本設計方針 設備図書 設置変更許可時の設計資料 業務報告書 	<ul style="list-style-type: none"> 基本設計方針機器 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書 	<ul style="list-style-type: none"> 仕様書
	4.5 原子炉格納容器の配管貫通部及び電気配線貫通部の設計	◎	—	—	<ul style="list-style-type: none"> 基本設計方針 	<ul style="list-style-type: none"> 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書 	—

各段階	プロセス（設計対象） 実績：3.3.1～3.3.3(5) 計画：3.4.1～3.7.2		組織内外の相互関係 ◎:主担当 ○:関連			インプット	アウトプット	他の記録類
			本社	発電所	供給者			
		4.6 代替循環冷却系の設計	◎	—	○	<ul style="list-style-type: none"> 基本設計方針 設備図書 業務報告書 	<ul style="list-style-type: none"> 要目表 設備別記載事項の設定根拠に関する説明書 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書 原子炉格納施設に係る機器の配置を明示した図面 原子炉格納施設に係る系統図 	<ul style="list-style-type: none"> 仕様書
		4.7 航空機燃料火災に関する設計	◎	—	—	<ul style="list-style-type: none"> 基本設計方針 設備図書 	<ul style="list-style-type: none"> 要目表 設備別記載事項の設定根拠に関する説明書 	—
		5. 原子炉格納施設の基礎に関する設計	◎	—	○	<ul style="list-style-type: none"> 基本設計方針 設備図書 既工認 業務報告書 「2. 原子炉格納施設の兼用に関する設計」で取りまとめた設計資料 「原子炉冷却系統施設」の様式-1の「4. 地震による損傷防止に関する設計」で取りまとめた設計資料 	<ul style="list-style-type: none"> 原子炉格納施設の基礎に関する説明書 	<ul style="list-style-type: none"> 仕様書 解析実施状況調査チェックシート
3.3.3 (3)	設計のアウトプットに対する検証		◎	—	—	<ul style="list-style-type: none"> 様式-2～様式-8 	—	<ul style="list-style-type: none"> 品質管理の各段階における確認記録

各段階	プロセス（設計対象） 実績：3.3.1～3.3.3(5) 計画：3.4.1～3.7.2	組織内外の相互関係 ◎:主担当 ○:関連			インプット	アウトプット	他の記録類	
		本社	発電所	供給者				
							(設計の段階)	
3.3.3 (4)	設工認申請書の作成	◎	○	—	・設計1 ・設計2 ・工事の方法	・設工認申請書案	・確認チェックシート	
3.3.3 (5)	設工認申請書の承認	◎	○	—	・設工認申請書案	・設工認申請書	・原子力発電保安運営委員会議事録 ・原子力発電保安委員会議事録	
工 事 及 び 検 査	3.4.1	設工認に基づく設備の具体的な設計の実施（設計3）	—	◎	○	・設計資料 ・業務報告書	・様式-8の「設備の具体的設計結果」欄	・仕様書
	3.4.2	設備の具体的な設計に基づく工事の実施	—	◎	○	・仕様書 ・工事の方法	・工事記録	—
	3.5.2	使用前事業者検査の計画	—	◎	○	・様式-8の「設工認設計結果（要目表／設計方針）」欄及び「設備の具体的設計結果」欄 ・工事の方法	・様式-8の「確認方法」欄	—
	3.5.3	検査計画の管理	—	◎	○	・使用前事業者検査工程表	・検査成績書	—
	3.5.4	主要な耐圧部の溶接部に係る使用前事業者検査の管理	—	◎	○	・溶接部詳細一覧表	・工事記録	—
	3.5.5	使用前事業者検査の実施	—	◎	○	・様式-8の「確認方法」欄 ・工事の方法	・検査要領書	—
			—	◎	○	・検査要領書	・検査記録	—
3.7.2	識別管理及びトレーサビリティ	—	◎	○	—	・検査記録	—	

適合性確認対象設備ごとの調達に係る管理のグレード及び実績（設備関係）

発電用原子炉施設の種類の種類	設備区分		系統名	機器区分	機器名称	品質管理グレード	保安規定品質マネジメントシステム計画		備考
							「7.3 設計・開発」の適用業務	「7.4 調達」の適用業務	
原子炉格納施設	原子炉格納容器	—*	—*	原子炉格納容器本体	原子炉格納容器	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
				機器搬出入口	上部ドライウエル機器搬入用ハッチ	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					下部ドライウエル機器搬入用ハッチ	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					サブプレッションチェンバ出入口	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
				エアロック	上部ドライウエル所員用エアロック	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					下部ドライウエル所員用エアロック	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
				原子炉格納容器配管貫通部及び電気配線貫通部	配管貫通部 (X-80)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					配管貫通部 (X-81)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					配管貫通部 (X-240)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					配管貫通部 (X-241)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					配管貫通部 (X-201)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					配管貫通部 (X-202)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					配管貫通部 (X-203)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					配管貫通部 (X-90)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
配管貫通部 (X-93)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。								

発電用原子炉施設の 種類	設備区分		系統名	機器区分	機器名称	品質管理 グレード	保安規定品質マネジメントシステム計画		備考
							「7.3 設計・開発」 の適用業務	「7.4 調達」 の適用業務	
原子炉格納施設	原子炉格納容器	—*	—*	原子炉格納容器 配管貫通部及び 電気配線貫通部	配管貫通部 (X-91)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					配管貫通部 (X-92)	I	○	○	
					配管貫通部 (X-210B)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					配管貫通部 (X-210C)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					配管貫通部 (X-250)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					配管貫通部 (X-251)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					配管貫通部 (X-252)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					配管貫通部 (X-254)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					配管貫通部 (X-255)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					配管貫通部 (X-253)	I	○	○	
					配管貫通部 (X-204)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					配管貫通部 (X-205)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					配管貫通部 (X-206)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					配管貫通部 (X-222)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					配管貫通部 (X-3)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
配管貫通部 (X-30B)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。								

発電用原子炉施設の種類	設備区分		系統名	機器区分	機器名称	品質管理グレード	保安規定品質マネジメントシステム計画		備考
							「7.3 設計・開発」の適用業務	「7.4 調達」の適用業務	
原子炉格納施設	原子炉格納容器	—*	—*	原子炉格納容器 配管貫通部及び 電気配線貫通部	配管貫通部 (X-30C)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					配管貫通部 (X-61)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					配管貫通部 (X-62)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					配管貫通部 (X-63)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					配管貫通部 (X-64)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					配管貫通部 (X-214)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					配管貫通部 (X-221)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					配管貫通部 (X-82)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					配管貫通部 (X-242)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					配管貫通部 (X-200B)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					配管貫通部 (X-200C)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					配管貫通部 (X-740)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					配管貫通部 (X-69)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					配管貫通部 (X-620)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
配管貫通部 (X-610)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。								

発電用原子炉施設の種類	設備区分		系統名	機器区分	機器名称	品質管理グレード	保安規定品質マネジメントシステム計画		備考
							「7.3 設計・開発」の適用業務	「7.4 調達」の適用業務	
原子炉格納施設	原子炉格納容器	—*	—*	原子炉格納容器 配管貫通部及び 電気配線貫通部	配管貫通部 (X-710)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					配管貫通部 (X-700A)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					配管貫通部 (X-700B)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					配管貫通部 (X-700C)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					配管貫通部 (X-700D)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					配管貫通部 (X-700E)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					配管貫通部 (X-700F)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					配管貫通部 (X-700G)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					配管貫通部 (X-700H)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					配管貫通部 (X-700J)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					配管貫通部 (X-700K)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					配管貫通部 (X-10A)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					配管貫通部 (X-10D)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					配管貫通部 (X-10B)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
配管貫通部 (X-10C)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。								

発電用原子炉施設の種類	設備区分		系統名	機器区分	機器名称	品質管理グレード	保安規定品質マネジメントシステム計画		備考
							「7.3 設計・開発」の適用業務	「7.4 調達」の適用業務	
原子炉格納施設	原子炉格納容器	—*	—*	原子炉格納容器 配管貫通部及び 電気配線貫通部	配管貫通部 (X-12A)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					配管貫通部 (X-12B)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					配管貫通部 (X-33A)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					配管貫通部 (X-33B)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					配管貫通部 (X-33C)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					配管貫通部 (X-31B)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					配管貫通部 (X-31C)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					配管貫通部 (X-35B)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					配管貫通部 (X-35C)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					配管貫通部 (X-50)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					配管貫通部 (X-37)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					配管貫通部 (X-38)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					配管貫通部 (X-213)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					配管貫通部 (X-11)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
配管貫通部 (X-22)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。								

発電用原子炉施設の種類	設備区分		系統名	機器区分	機器名称	品質管理 グレード	保安規定品質マネジメントシステム計画		備考
							「7.3 設計・開発」 の適用業務	「7.4 調達」 の適用業務	
原子炉格納施設	原子炉格納容器	—*	—*	原子炉格納容器 配管貫通部及び 電気配線貫通部	配管貫通部 (X-65)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					配管貫通部 (X-66)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					配管貫通部 (X-215)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					配管貫通部 (X-220)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					配管貫通部 (X-60)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					配管貫通部 (X-70)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					配管貫通部 (X-71A)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					配管貫通部 (X-71B)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					配管貫通部 (X-72)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					配管貫通部 (X-170)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					配管貫通部 (X-621)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					配管貫通部 (X-130A)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					配管貫通部 (X-130B)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					配管貫通部 (X-130C)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
配管貫通部 (X-130D)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。								

発電用原子炉施設の種類	設備区分		系統名	機器区分	機器名称	品質管理グレード	保安規定品質マネジメントシステム計画		備考
							「7.3 設計・開発」の適用業務	「7.4 調達」の適用業務	
原子炉格納施設	原子炉格納容器	—*	—*	原子炉格納容器 配管貫通部及び 電気配線貫通部	配管貫通部 (X-140B)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					配管貫通部 (X-141A)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					配管貫通部 (X-141B)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					配管貫通部 (X-140A)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					配管貫通部 (X-146A)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					配管貫通部 (X-146B)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					配管貫通部 (X-146C)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					配管貫通部 (X-146D)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					配管貫通部 (X-160)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					配管貫通部 (X-162A)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					配管貫通部 (X-162B)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					配管貫通部 (X-171)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					配管貫通部 (X-177)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					配管貫通部 (X-321A)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
配管貫通部 (X-321B)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。								

発電用原子炉施設の種類	設備区分		系統名	機器区分	機器名称	品質管理グレード	保安規定品質マネジメントシステム計画		備考
							「7.3 設計・開発」の適用業務	「7.4 調達」の適用業務	
原子炉格納施設	原子炉格納容器	—*	—*	原子炉格納容器 配管貫通部及び 電気配線貫通部	配管貫通部 (X-332A)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					配管貫通部 (X-332B)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					配管貫通部 (X-161A)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					配管貫通部 (X-161B)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					配管貫通部 (X-331A)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					配管貫通部 (X-331B)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					配管貫通部 (X-142A)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					配管貫通部 (X-142B)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					配管貫通部 (X-142C)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					配管貫通部 (X-143A)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					配管貫通部 (X-143B)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					配管貫通部 (X-143C)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					配管貫通部 (X-143D)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					配管貫通部 (X-144A)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
配管貫通部 (X-144B)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。								

発電用原子炉施設の種類	設備区分		系統名	機器区分	機器名称	品質管理グレード	保安規定品質マネジメントシステム計画		備考
							「7.3 設計・開発」の適用業務	「7.4 調達」の適用業務	
原子炉格納施設	原子炉格納容器	—*	—*	原子炉格納容器 配管貫通部及び 電気配線貫通部	配管貫通部 (X-144C)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					配管貫通部 (X-144D)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					配管貫通部 (X-147)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					配管貫通部 (X-142D)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					配管貫通部 (X-320)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					配管貫通部 (X-342)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					配管貫通部 (X-322A)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					配管貫通部 (X-322B)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					配管貫通部 (X-322C)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					配管貫通部 (X-322D)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					配管貫通部 (X-322E)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					配管貫通部 (X-322F)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					配管貫通部 (X-323A)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					配管貫通部 (X-323B)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
配管貫通部 (X-323C)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。								

発電用原子炉施設の種類	設備区分		系統名	機器区分	機器名称	品質管理グレード	保安規定品質マネジメントシステム計画		備考
							「7.3 設計・開発」の適用業務	「7.4 調達」の適用業務	
原子炉格納施設	原子炉格納容器	—*	—*	原子炉格納容器 配管貫通部及び 電気配線貫通部	配管貫通部 (X-323D)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					配管貫通部 (X-323E)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					配管貫通部 (X-323F)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					配管貫通部 (X-660A)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					配管貫通部 (X-660B)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					配管貫通部 (X-660C)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					配管貫通部 (X-660D)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					配管貫通部 (X-650A)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					配管貫通部 (X-651D)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					配管貫通部 (X-650B)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					配管貫通部 (X-651A)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					配管貫通部 (X-650C)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					配管貫通部 (X-651B)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					配管貫通部 (X-650D)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
配管貫通部 (X-651C)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。								

発電用原子炉施設の種類	設備区分		系統名	機器区分	機器名称	品質管理グレード	保安規定品質マネジメントシステム計画		備考
							「7.3 設計・開発」の適用業務	「7.4 調達」の適用業務	
原子炉格納施設	原子炉格納容器	—*	—*	原子炉格納容器 配管貫通部及び 電気配線貫通部	配管貫通部 (X-750A)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					配管貫通部 (X-750D)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					配管貫通部 (X-750B)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					配管貫通部 (X-750C)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					配管貫通部 (X-751A)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					配管貫通部 (X-751D)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					配管貫通部 (X-751B)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					配管貫通部 (X-751C)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					配管貫通部 (X-680A)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					配管貫通部 (X-680B)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					配管貫通部 (X-780A)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					配管貫通部 (X-780B)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					電気配線貫通部 (X-100A)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					電気配線貫通部 (X-100B)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
電気配線貫通部 (X-100E)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。								

発電用原子炉施設の 種類	設備区分		系統名	機器区分	機器名称	品質管理 グレード	保安規定品質マネジメントシステム計画		備考
							「7.3 設計・開発」 の適用業務	「7.4 調達」 の適用業務	
原子炉格納施設	原子炉格納容器	—*	—*	原子炉格納容器 配管貫通部及び 電気配線貫通部	電気配線貫通部 (X-100C)		既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。		
					電気配線貫通部 (X-100D)		既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。		
					電気配線貫通部 (X-101A)		既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。		
					電気配線貫通部 (X-101B)		既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。		
					電気配線貫通部 (X-103B)		既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。		
					電気配線貫通部 (X-104A)		既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。		
					電気配線貫通部 (X-104B)		既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。		
					電気配線貫通部 (X-104G)		既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。		
					電気配線貫通部 (X-104H)		既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。		
					電気配線貫通部 (X-101C)		既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。		
					電気配線貫通部 (X-101H)		既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。		
					電気配線貫通部 (X-102B)		既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。		
					電気配線貫通部 (X-101D)		既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。		
					電気配線貫通部 (X-101E)		既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。		
電気配線貫通部 (X-101F)		既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。							

発電用原子炉施設の種類	設備区分		系統名	機器区分	機器名称	品質管理グレード	保安規定品質マネジメントシステム計画		備考
							「7.3 設計・開発」の適用業務	「7.4 調達」の適用業務	
原子炉格納施設	原子炉格納容器	—*	—*	原子炉格納容器配管貫通部及び電気配線貫通部	電気配線貫通部 (X-101G)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					電気配線貫通部 (X-102A)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					電気配線貫通部 (X-102D)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					電気配線貫通部 (X-102E)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					電気配線貫通部 (X-102F)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					電気配線貫通部 (X-103A)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					電気配線貫通部 (X-104C)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					電気配線貫通部 (X-104D)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					電気配線貫通部 (X-104E)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					電気配線貫通部 (X-104F)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					電気配線貫通部 (X-102C)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					電気配線貫通部 (X-103D)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					電気配線貫通部 (X-102G)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					電気配線貫通部 (X-103C)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
電気配線貫通部 (X-103E)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。								

発電用原子炉施設の 種類	設備区分		系統名	機器区分	機器名称	品質管理 グレード	保安規定品質マネジメントシステム計画		備考
							「7.3 設計・開発」 の適用業務	「7.4 調達」 の適用業務	
原子炉格納施設	原子炉格納容器	—*	—*	原子炉格納容器 配管貫通部及び 電気配線貫通部	電気配線貫通部 (X-105A)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					電気配線貫通部 (X-105B)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					電気配線貫通部 (X-105C)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					電気配線貫通部 (X-105D)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					電気配線貫通部 (X-110)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					電気配線貫通部 (X-111)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					電気配線貫通部 (X-112)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					電気配線貫通部 (X-300A)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					電気配線貫通部 (X-300B)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
	原子炉建屋	—*	—*	原子炉建屋原子炉棟	原子炉建屋原子炉区域 (二次格納施設)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
				機器搬出入口	原子炉建屋機器搬出入口	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
				エアロック	原子炉建屋エアロック	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
				原子炉建屋基礎スラブ	原子炉建屋基礎スラブ	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
	圧力低減設備 その他の安全設備	—*	—*	真空破壊装置	真空破壊弁	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
				ダイヤフラムフロア	ダイヤフラムフロア	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			

発電用原子炉施設の種類	設備区分		系統名	機器区分	機器名称	品質管理グレード	保安規定品質マネジメントシステム計画		備考		
							「7.3 設計・開発」の適用業務	「7.4 調達」の適用業務			
原子炉格納施設	圧力低減設備 その他の安全設備	—*	—*	ベント管	ベント管				既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。		
		原子炉格納容器安全設備	格納容器スプレイ冷却系	熱交換器	残留熱除去系熱交換器					既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。	
				ポンプ	残留熱除去系ポンプ					既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。	
				ろ過装置	残留熱除去系ストレーナ					既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。	
				安全弁及び逃がし弁	E11-F051A, B, C					既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。	
				主配管（スプレイヘッドを含む。）	原子炉格納容器スプレイ管（ドライウェル側）						既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。
					原子炉格納容器スプレイ管（サブプレッションチェンバ側）						既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。
					残留熱除去系 残留熱除去系ストレーナ(B)～原子炉压力容器(B)系出口配管合流部						既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。
					残留熱除去系 原子炉压力容器(B)系出口配管合流部～残留熱除去系ポンプ(B)						既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。
					残留熱除去系 残留熱除去系ポンプ(B)～残留熱除去系ポンプ(B)出口分岐部						既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。
					残留熱除去系 残留熱除去系ポンプ(B)出口分岐部～残留熱除去系熱交換器(B)						既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。
					残留熱除去系 残留熱除去系熱交換器(B)～サブプレッションプール水移送配管(B)分岐部						既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。
					残留熱除去系 サブプレッションプール水移送配管(B)分岐部～熱交換器(B)出口配管合流部						既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。
					残留熱除去系 熱交換器(B)出口配管合流部～サブプレッションプール注水配管(B)分岐部						既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。
残留熱除去系 サブプレッションプール注水配管(B)分岐部～サブプレッションチェンバスプレイモード(B)分岐部							既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。				

発電用原子炉施設の種類の種類	設備区分		系統名	機器区分	機器名称	品質管理グレード	保安規定品質マネジメントシステム計画		備考
							「7.3 設計・開発」の適用業務	「7.4 調達」の適用業務	
原子炉格納施設	圧力低減設備 その他の安全設備	原子炉格納容器安全設備	格納容器 スプレイ 冷却系	主配管（スプレイヘッドを含む。）	残留熱除去系 サプレッションチェンバススプレイモード(B)分岐部	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					残留熱除去系 サプレッションチェンバススプレイモード(B)分岐部～残留熱除去系配管(B)燃料プール冷却浄化系入口配管分岐部	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					残留熱除去系 残留熱除去系配管(B)燃料プール冷却浄化系入口配管分岐部～ドライウェルスプレイモード(B)分岐部	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					残留熱除去系 ドライウェルスプレイモード(B)分岐部	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					残留熱除去系 サプレッションチェンバススプレイモード(B)分岐部～原子炉格納容器スプレイ管（サブプレッションチェンバ側）	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					残留熱除去系 ドライウェルスプレイモード(B)分岐部～原子炉格納容器スプレイ管（ドライウェル側）	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					残留熱除去系 残留熱除去系ストレーナ(C)～原子炉压力容器(C)系出口配管合流部	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					残留熱除去系 原子炉压力容器(C)系出口配管合流部～残留熱除去系ポンプ(C)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					残留熱除去系 残留熱除去系ポンプ(C)～残留熱除去系ポンプ(C)出口分岐部	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					残留熱除去系 残留熱除去系ポンプ(C)出口分岐部～残留熱除去系熱交換器(C)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					残留熱除去系 残留熱除去系熱交換器(C)～サブプレッションプール水移送配管(C)分岐部	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					残留熱除去系 サプレッションプール水移送配管(C)分岐部～熱交換器(C)出口配管合流部	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					残留熱除去系 熱交換器(C)出口配管合流部～サブプレッションプール注水配管(C)分岐部	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			

発電用原子炉施設の種類	設備区分		系統名	機器区分	機器名称	品質管理グレード	保安規定品質マネジメントシステム計画		備考		
							「7.3 設計・開発」の適用業務	「7.4 調達」の適用業務			
原子炉格納施設	圧力低減設備 その他の安全設備	原子炉格納容器安全設備	格納容器 スプレイ 冷却系	主配管（スプレイヘッドを含む。）	残留熱除去系 サプレッションプール注水配管(C)分岐部～サプレッションチェンバススプレイモード(C)分岐部	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。					
					残留熱除去系 サプレッションチェンバススプレイモード(C)分岐部～ドライウェルスプレイモード(C)分岐部	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。					
					残留熱除去系 サプレッションチェンバススプレイモード(C)分岐部～残留熱除去系配管(C)燃料プール冷却浄化系入口配管分岐部	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。					
					残留熱除去系 残留熱除去系配管(C)燃料プール冷却浄化系入口配管分岐部～原子炉格納容器スプレイ管（サプレッションチェンバ側）	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。					
					残留熱除去系 ドライウェルスプレイモード(C)分岐部～原子炉格納容器スプレイ管（ドライウェル側）	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。					
						熱交換器	残留熱除去系熱交換器	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
						ポンプ	残留熱除去系ポンプ	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
						ろ過装置	残留熱除去系ストレーナ	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
						サプレッションチェンバスプール水冷却系	安全弁及び逃がし弁	E11-F051A, B, C	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。		
						主配管（スプレイヘッドを含む。）	残留熱除去系 残留熱除去系ストレーナ(A)～原子炉压力容器(A)系出口配管合流部	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					残留熱除去系 原子炉压力容器(A)系出口配管合流部～残留熱除去系ポンプ(A)		既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。				
					残留熱除去系 残留熱除去系ポンプ(A)～残留熱除去系ポンプ(A)出口分岐部		既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。				
					残留熱除去系 残留熱除去系ポンプ(A)出口分岐部～残留熱除去系熱交換器(A)		既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。				

発電用原子炉施設の 種類	設備区分		系統名	機器区分	機器名称	品質管理 グレード	保安規定品質マネジメントシステム計画		備考
							「7.3 設計・開発」 の適用業務	「7.4 調達」 の適用業務	
原子炉格納施設	圧力低減設備 その他の安全 設備	原子炉格納容器安全設備	サブプレッ ションチェンバ ール水冷却系	主配管（スプレ イヘッドを含 む。）	残留熱除去系 残留熱除去系熱交換器(A)～サブプレッションプール水移送配管(A)分岐部	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					残留熱除去系 サブプレッションプール水移送配管(A)分岐部～熱交換器(A)出口配管合流部	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					残留熱除去系 熱交換器(A)出口配管合流部～サブプレッションプール注水配管(A)分岐部	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					残留熱除去系 サブプレッションプール注水配管(A)分岐部～サブプレッションチェンバ	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					残留熱除去系 残留熱除去系ストレーナ(B)～原子炉压力容器(B)系出口配管合流部	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					残留熱除去系 原子炉压力容器(B)系出口配管合流部～残留熱除去系ポンプ(B)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					残留熱除去系 残留熱除去系ポンプ(B)～残留熱除去系ポンプ(B)出口分岐部	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					残留熱除去系 残留熱除去系ポンプ(B)出口分岐部～残留熱除去系熱交換器(B)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					残留熱除去系 残留熱除去系熱交換器(B)～サブプレッションプール水移送配管(B)分岐部	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					残留熱除去系 サブプレッションプール水移送配管(B)分岐部～熱交換器(B)出口配管合流部	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					残留熱除去系 熱交換器(B)出口配管合流部～サブプレッションプール注水配管(B)分岐部	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					残留熱除去系 サブプレッションプール注水配管(B)分岐部～サブプレッションチェンバ	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					残留熱除去系 残留熱除去系ストレーナ(C)～原子炉压力容器(C)系出口配管合流部	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					残留熱除去系 原子炉压力容器(C)系出口配管合流部～残留熱除去系ポンプ(C)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
残留熱除去系 残留熱除去系ポンプ(C)～残留熱除去系ポンプ(C)出口分岐部	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。								

発電用原子炉施設の種類	設備区分		系統名	機器区分	機器名称	品質管理グレード	保安規定品質マネジメントシステム計画		備考
							「7.3 設計・開発」の適用業務	「7.4 調達」の適用業務	
原子炉格納施設	圧力低減設備 その他の安全設備	原子炉格納容器安全設備	サブプレッションチェーンプール水冷却系	主配管（スプレイヘッドを含む。）	残留熱除去系 残留熱除去系ポンプ(C)出口分岐部～残留熱除去系熱交換器(C)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					残留熱除去系 残留熱除去系熱交換器(C)～サブプレッションプール水移送配管(C)分岐部	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					残留熱除去系 サブプレッションプール水移送配管(C)分岐部～熱交換器(C)出口配管合流部	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					残留熱除去系 熱交換器(C)出口配管合流部～サブプレッションプール注水配管(C)分岐部	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					残留熱除去系 サブプレッションプール注水配管(C)分岐部～サブプレッションチェーン	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
			ポンプ	復水移送ポンプ	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。				
					可搬型代替注水ポンプ (A-2 級) (7 号機設備, 6, 7 号機共用)	—	○	—	原子力部門外の部署が調達しているため、品質管理グレードは対象外である。
				貯蔵槽	復水貯蔵槽	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
				ろ過装置	可搬型 Y 型ストレーナ (7 号機設備, 6, 7 号機共用)	II	○	○	
			格納容器下部注水系	主配管（スプレイヘッドを含む。）	補給水系 復水補給水系 (A) 外部注水配管合流部～下部ドライウエル	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					高圧炉心注水系 E22-F021, F022, F023～高圧炉心注水系集合管	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					高圧炉心注水系 高圧炉心注水系集合管～P13-F011	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					補給水系 P13-F011～低圧代替注水系合流部	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					補給水系 補給水系復水移送ポンプ出口分岐部～低圧代替注水系 (A), (B) 分岐部	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
			補給水系 低圧代替注水系 (A), (B) 分岐部	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。					

発電用原子炉施設の 種類	設備区分		系統名	機器区分	機器名称	品質管理 グレード	保安規定品質マネジメントシステム計画		備考
							「7.3 設計・開発」 の適用業務	「7.4 調達」 の適用業務	
原子炉格納施設	圧力低減設備 その他の安全 設備	原子炉格納容器安 全設備	格納容器 下部注水 系	主配管（スプレ イヘッドを含 む。）	補給水系 低圧代替注水系 (A), (B) 分岐部～低圧 代替注水系配管 (A) 分岐部	既設設備であり、当時の調達管理に基づき 実施している。			
					補給水系 低圧代替注水系配管 (A) 分岐部	既設設備であり、当時の調達管理に基づき 実施している。			
					補給水系 低圧代替注水系配管 (A) 分岐部～復水 補給水系可搬式注水配管合流部	既設設備であり、当時の調達管理に基づき 実施している。			
					補給水系 復水補給水系 (A) 外部注水配管合流部 ～低圧代替注水系配管 (A) 分岐部	既設設備であり、当時の調達管理に基づき 実施している。			
					補給水系 低圧代替注水系 (A), (B) 分岐部～復水 補給水系 (B) 外部注水配管合流部	既設設備であり、当時の調達管理に基づき 実施している。			
					補給水系 復水補給水系可搬式注水配管合流部	II	○	○	
					補給水系 復水補給水系可搬式接続口 (東)～復水 補給水系可搬式接続口 (屋内東)	II	○	○	
					補給水系 復水補給水系可搬式接続口 (屋内西)～ 復水補給水系可搬式注水配管合流部	II	○	○	
					補給水系 復水補給水系接続口 (東)～復水補給水 系 (A) 外部注水配管合流部	II	○	○	
					補給水系 復水補給水系 (A) 外部注水配管合流部	II	○	○	
					補給水系 復水補給水系 (B) 外部注水配管合流部	II	○	○	
					補給水系 復水補給水系接続口 (南)～復水補給水 系 (B) 外部注水配管合流部	II	○	○	
					補給水系 復水貯蔵槽～E22-F021, F022, F023	既設設備であり、当時の調達管理に基づき 実施している。			
					補給水系 復水貯蔵槽～制御棒駆動系分岐部	既設設備であり、当時の調達管理に基づき 実施している。			
補給水系 制御棒駆動系分岐部～低圧代替注水系 合流部	既設設備であり、当時の調達管理に基づき 実施している。								
補給水系 低圧代替注水系合流部～復水移送ポン プ	既設設備であり、当時の調達管理に基づき 実施している。								

発電用原子炉施設の 種類	設備区分		系統名	機器区分	機器名称	品質管理 グレード	保安規定品質マネジメントシステム計画		備考
							「7.3 設計・開発」 の適用業務	「7.4 調達」 の適用業務	
原子炉格納施設	圧力低減設備 その他の安全 設備	原子炉格納容器安 全設備	格納容器 下部注水 系	主配管（スプレ イヘッドを含 む。）	補給水系 復水移送ポンプ～補給水系復水移送ポン プ出口分岐部	既設設備であり、当時の調達管理に基づき 実施している。			
					代替給水設備 可搬型代替注水ポンプ屋内用 20m ホース	設工認申請時点において調達未実施であ る。			
					代替給水設備 可搬型代替注水ポンプ屋外用 20m ホース（7号機設備、6,7号機共用）	Ⅲ	○	○	
			ポンプ		復水移送ポンプ	既設設備であり、当時の調達管理に基づき 実施している。			
					可搬型代替注水ポンプ（A-2級）（7号機設備、6,7 号機共用）	—	○	—	原子力部門外の部署が 調達しているため、品質 管理グレードは対象外 である。
			貯蔵槽		復水貯蔵槽	既設設備であり、当時の調達管理に基づき 実施している。			
			ろ過装置		可搬型Y型ストレーナ（7号機設備、6,7号機共用）	Ⅱ	○	○	
			安全弁及び逃が し弁		E11-F051A, B, C	既設設備であり、当時の調達管理に基づき 実施している。			
			代替格納 容器スプレ イ冷却 系	主配管（スプレ イヘッドを含 む。）	残留熱除去系 サプレッションチェンバスプレ イモード(B)分岐部	既設設備であり、当時の調達管理に基づき 実施している。			
					残留熱除去系 サプレッションチェンバスプレ イモード(B)分岐部～残留熱除去系配管(B)燃料プ ール冷却浄化系入口配管分岐部	既設設備であり、当時の調達管理に基づき 実施している。			
					残留熱除去系 残留熱除去系配管(B)燃料プ ール冷却浄化系入口配管分岐部～ドライウェルスプレ イモード(B)分岐部	既設設備であり、当時の調達管理に基づき 実施している。			
					残留熱除去系 ドライウェルスプレイモード(B) 分岐部	既設設備であり、当時の調達管理に基づき 実施している。			
					残留熱除去系 ドライウェルスプレイモード(B) 分岐部～低圧代替注水配管残留熱除去系(B)合流 部	既設設備であり、当時の調達管理に基づき 実施している。			
			残留熱除去系 低圧代替注水配管残留熱除去系 (B)合流部	既設設備であり、当時の調達管理に基づき 実施している。					

発電用原子炉施設の種類	設備区分		系統名	機器区分	機器名称	品質管理グレード	保安規定品質マネジメントシステム計画		備考
							「7.3 設計・開発」の適用業務	「7.4 調達」の適用業務	
原子炉格納施設	圧力低減設備 その他の安全設備	原子炉格納容器安全設備	代替格納容器スプレイ冷却系	主管管（スプレイヘッドを含む。）	残留熱除去系 サプレッションチェンバースプレイモード(B)分岐部～原子炉格納容器スプレイ管（サプレッションチェンバ側）	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					残留熱除去系 ドライウェルスプレイモード(B)分岐部～原子炉格納容器スプレイ管（ドライウェル側）	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					高圧炉心注水系 E22-F021, F022, F023～高圧炉心注水系集合管	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					高圧炉心注水系 高圧炉心注水系集合管～P13-F011	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					補給水系 P13-F011～低圧代替注水系合流部	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					補給水系 補給水系復水移送ポンプ出口分岐部～低圧代替注水系(A), (B)分岐部	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					補給水系 低圧代替注水系(A), (B)分岐部	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					補給水系 低圧代替注水系(A), (B)分岐部～低圧代替注水系配管(A)分岐部	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					補給水系 低圧代替注水系配管(A)分岐部	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					補給水系 低圧代替注水系配管(A)分岐部～復水補給水系可搬式注水配管合流部	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					補給水系 復水補給水系(A)外部注水配管合流部～低圧代替注水系配管(A)分岐部	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					補給水系 低圧代替注水系(A), (B)分岐部～復水補給水系(B)外部注水配管合流部	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					補給水系 復水補給水系(B)外部注水配管合流部～E11-F055B	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					残留熱除去系 E11-F055B～E11-F032B	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
残留熱除去系 E11-F032B～低圧代替注水配管残留熱除去系(B)合流部	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。								

発電用原子炉施設の 種類	設備区分		系統名	機器区分	機器名称	品質管理 グレード	保安規定品質マネジメントシステム計画		備考
							「7.3 設計・開発」 の適用業務	「7.4 調達」 の適用業務	
原子 炉 格 納 施 設	圧力低減設備 その他の安全 設備	原子炉格納容器安 全設備	代替格納 容器スプレ イ冷却 系	主配管（スプレ イヘッドを含 む。）	補給水系 復水補給水系可搬式注水配管合流部	II	○	○	
					補給水系 復水補給水系可搬式接続口（東）～復水 補給水系可搬式接続口（屋内東）	II	○	○	
					補給水系 復水補給水系可搬式接続口（屋内西）～ 復水補給水系可搬式注水配管合流部	II	○	○	
					補給水系 復水補給水系接続口（東）～復水補給水 系(A)外部注水配管合流部	II	○	○	
					補給水系 復水補給水系(A)外部注水配管合流部	II	○	○	
					補給水系 復水補給水系(B)外部注水配管合流部	II	○	○	
					補給水系 復水補給水系接続口（南）～復水補給水 系(B)外部注水配管合流部	II	○	○	
					補給水系 復水貯蔵槽～E22-F021, F022, F023	既設設備であり、当時の調達管理に基づき 実施している。			
					補給水系 復水貯蔵槽～制御棒駆動系分岐部	既設設備であり、当時の調達管理に基づき 実施している。			
					補給水系 制御棒駆動系分岐部～低圧代替注水系 合流部	既設設備であり、当時の調達管理に基づき 実施している。			
					補給水系 低圧代替注水系合流部～復水移送ポン プ	既設設備であり、当時の調達管理に基づき 実施している。			
					補給水系 復水移送ポンプ～補給水系復水移送ポ ンプ出口分岐部	既設設備であり、当時の調達管理に基づき 実施している。			
					原子炉格納容器スプレイ管（ドライウェル側）	既設設備であり、当時の調達管理に基づき 実施している。			
					原子炉格納容器スプレイ管（サブプレッションチェ ンバ側）	既設設備であり、当時の調達管理に基づき 実施している。			
代替給水設備 可搬型代替注水ポンプ屋内用 20m ホース	設工認申請時点において調達未実施であ る。								
代替給水設備 可搬型代替注水ポンプ屋外用 20m ホース（7号機設備, 6,7号機共用）	III	○	○						

発電用原子炉施設の種類	設備区分		系統名	機器区分	機器名称	品質管理グレード	保安規定品質マネジメントシステム計画		備考
							「7.3 設計・開発」の適用業務	「7.4 調達」の適用業務	
原子炉格納施設	圧力低減設備 その他の安全設備	原子炉格納容器安全設備	原子炉建屋放水設備	ポンプ	大容量送水車（原子炉建屋放水設備用）（7号機設備，6，7号機共用）	I	○	○	
				容器	泡原液搬送車（7号機設備，6，7号機共用）	I	○	○	
				主配管（スプレ イヘッドを含む。）	原子炉建屋放水設備 大容量送水車（原子炉建屋放水設備用）吸込20mホース（7号機設備，6，7号機共用）	I	○	○	
					原子炉建屋放水設備 大容量送水車吐出放水砲用5m，10m，50mホース（7号機設備，6，7号機共用）	I	○	○	
					原子炉建屋放水設備 放水砲（7号機設備，6，7号機共用）	I	○	○	
			代替循環冷却系	熱交換器	残留熱除去系熱交換器	既設設備であり，当時の調達管理に基づき実施している。			
				ポンプ	残留熱除去系ポンプ	既設設備であり，当時の調達管理に基づき実施している。			
					復水移送ポンプ	既設設備であり，当時の調達管理に基づき実施している。			
				ろ過装置	残留熱除去系ストレーナ	既設設備であり，当時の調達管理に基づき実施している。			
				安全弁及び逃がし弁	E11-F051A, B, C	既設設備であり，当時の調達管理に基づき実施している。			
		主配管（スプレ イヘッドを含む。）		残留熱除去系 代替循環冷却配管残留熱除去系(B)分岐部～E11-F071	I	○	○		
				高圧炉心注水系 E11-F071～代替循環冷却配管高圧炉心注水系(B)合流部	I	○	○		
			復水給水系 代替注水配管復水給水系(A)合流部～原子炉圧力容器	既設設備であり，当時の調達管理に基づき実施している。					
			復水給水系 代替注水系配管 B21-F056A 出口合流部～代替注水配管復水給水系(A)合流部	既設設備であり，当時の調達管理に基づき実施している。					
			残留熱除去系 低圧代替注水配管残留熱除去系(A)合流部～代替注水系配管 B21-F056A 出口合流部	既設設備であり，当時の調達管理に基づき実施している。					

発電用原子炉施設の 種類	設備区分		系統名	機器区分	機器名称	品質管理 グレード	保安規定品質マネジメントシステム計画		備考
							「7.3 設計・開発」 の適用業務	「7.4 調達」 の適用業務	
原子炉格納施設	圧力低減設備 その他の安全 設備	原子炉格納容器安全 設備	代替循環 冷却系	主配管（スプレ イヘッドを含 む。）	残留熱除去系 残留熱除去系ストレーナ(B)～原子炉压力容器(B)系出口配管合流部	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					残留熱除去系 原子炉压力容器(B)系出口配管合流部～残留熱除去系ポンプ(B)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					残留熱除去系 残留熱除去系ポンプ(B)～残留熱除去系ポンプ(B)出口分岐部	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					残留熱除去系 残留熱除去系ポンプ(B)出口分岐部～残留熱除去系熱交換器(B)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					残留熱除去系 残留熱除去系熱交換器(B)～サブレーションプール水移送配管(B)分岐部	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					残留熱除去系 ドライウェルスプレイモード(B)分岐部	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					残留熱除去系 ドライウェルスプレイモード(B)分岐部～低圧代替注水配管残留熱除去系(B)合流部	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					残留熱除去系 低圧代替注水配管残留熱除去系(B)合流部	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					残留熱除去系 ドライウェルスプレイモード(B)分岐部～原子炉格納容器スプレイ管（ドライウェル側）	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					残留熱除去系 サブレーションプール水移送配管(B)分岐部～代替循環冷却配管残留熱除去系(B)分岐部	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					高圧炉心注水系 E22-F021, F022, F023～高圧炉心注水系集合管	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					高圧炉心注水系 高圧炉心注水系集合管～高圧炉心注水系(B), (C)分岐部	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					高圧炉心注水系 高圧炉心注水系(B), (C)分岐部	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					高圧炉心注水系 高圧炉心注水系(B), (C)分岐部～代替循環冷却配管高圧炉心注水系(B)合流部	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			

発電用原子炉施設の 種類	設備区分		系統名	機器区分	機器名称	品質管理 グレード	保安規定品質マネジメントシステム計画		備考
							「7.3 設計・開発」 の適用業務	「7.4 調達」 の適用業務	
原子炉格納施設	圧力低減設備 その他の安全 設備	原子炉格納容器安全設備	代替循環冷却系	主配管（スプレ イヘッドを含む。）	高圧炉心注水系 代替循環冷却配管高圧炉心注水系(B)合流部	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					高圧炉心注水系 高圧炉心注水系集合管～P13-F011	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					補給水系 P13-F011～低圧代替注水系合流部	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					補給水系 補給水系復水移送ポンプ出口分岐部～低圧代替注水系(A),(B)分岐部	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					補給水系 低圧代替注水系(A),(B)分岐部	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					補給水系 低圧代替注水系(A),(B)分岐部～低圧代替注水系配管(A)分岐部	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					補給水系 低圧代替注水系配管(A)分岐部	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					補給水系 低圧代替注水系配管(A)分岐部～復水補給水系可搬式注水配管合流部	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					補給水系 復水補給水系可搬式注水配管合流部～E11-F055A	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					残留熱除去系 E11-F055A～E11-F032A	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					残留熱除去系 E11-F032A～低圧代替注水配管残留熱除去系(A)合流部	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					補給水系 復水補給水系(A)外部注水配管合流部～低圧代替注水系配管(A)分岐部	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					補給水系 低圧代替注水系(A),(B)分岐部～復水補給水系(B)外部注水配管合流部	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					補給水系 復水補給水系(B)外部注水配管合流部～E11-F055B	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
残留熱除去系 E11-F055B～E11-F032B	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。								

発電用原子炉施設の種類	設備区分		系統名	機器区分	機器名称	品質管理グレード	保安規定品質マネジメントシステム計画		備考	
							「7.3 設計・開発」の適用業務	「7.4 調達」の適用業務		
原子炉格納施設	圧力低減設備 その他の安全設備	原子炉格納容器安全設備	代替循環冷却系	主配管（スプレイヘッドを含む。）	残留熱除去系 E11-F032B～低圧代替注水配管残留熱除去系(B)合流部	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。				
					補給水系 復水補給水系可搬式注水配管合流部	II	○	○		
					補給水系 復水補給水系(A)外部注水配管合流部	II	○	○		
					補給水系 復水補給水系(B)外部注水配管合流部	II	○	○		
					補給水系 低圧代替注水系合流部～復水移送ポンプ	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。				
					補給水系 復水移送ポンプ～補給水系復水移送ポンプ出口分岐部	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。				
					原子炉格納容器スプレイ管（ドライウエル側）	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。				
					補給水系 復水補給水系(A)外部注水配管合流部～下部ドライウエル	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。				
				ポンプ	高圧代替注水系ポンプ	I	○	○		
				貯蔵槽	復水貯蔵槽	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。				
				高圧代替注水系	主配管（スプレイヘッドを含む。）	主蒸気系 原子炉压力容器～原子炉隔離時冷却系分岐部	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
			復水給水系 代替注水配管復水給水系(A)合流部～原子炉压力容器			既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。				
			復水給水系 代替注水系配管 B21-F056A 出口合流部～代替注水配管復水給水系(A)合流部			既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。				
			復水給水系 高圧代替注水配管合流部～代替注水系配管 B21-F056A 出口合流部			既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。				
			高圧炉心注水系 E22-F021, F022, F023～高圧炉心注水系集合管			既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。				
					高圧炉心注水系 高圧炉心注水系集合管～高圧炉心注水系(B), (C)分岐部	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。				
					高圧炉心注水系 高圧炉心注水系(B), (C)分岐部	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。				

発電用原子炉施設の種類	設備区分		系統名	機器区分	機器名称	品質管理グレード	保安規定品質マネジメントシステム計画		備考
							「7.3 設計・開発」の適用業務	「7.4 調達」の適用業務	
原子炉格納施設	圧力低減設備 その他の安全設備	原子炉格納容器安全設備	高圧代替注水系	主配管（スプレイヘッドを含む。）	高圧炉心注水系 高圧炉心注水系 (B), (C) 分岐部～高圧炉心注水配管原子炉隔離時冷却系分岐部	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					高圧炉心注水系 高圧炉心注水配管原子炉隔離時冷却系分岐部～高圧代替注水系分岐部	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					原子炉隔離時冷却系 原子炉隔離時冷却系分岐部～蒸気入口配管分岐部	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					原子炉隔離時冷却系 蒸気出口配管合流部～サブレーションチェンバ	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					原子炉隔離時冷却系 蒸気入口配管分岐部～E51-F080	I	○	○	
					高圧代替注水系 E51-F080～高圧代替注水系ポンプ	I	○	○	
					高圧代替注水系 高圧代替注水系ポンプ～蒸気出口配管合流部	I	○	○	
					高圧炉心注水系 高圧代替注水系分岐部～E22-F030	I	○	○	
					高圧代替注水系 E22-F030～高圧代替注水系ポンプ	I	○	○	
					高圧代替注水系 高圧代替注水系ポンプ～B21-F058	I	○	○	
			復水給水系 B21-F058～高圧代替注水配管合流部	I	○	○			
			補給水系 復水貯蔵槽～E22-F021, F022, F023	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。					
			低圧代替注水系	ポンプ	復水移送ポンプ	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					可搬型代替注水ポンプ (A-2 級) (7 号機設備, 6, 7 号機共用)	—	○	—	原子力部門外の部署が調達しているため、品質管理グレードは対象外である。
貯蔵槽	復水貯蔵槽	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。							

発電用原子炉施設の種類の種類	設備区分		系統名	機器区分	機器名称	品質管理グレード	保安規定品質マネジメントシステム計画		備考
							「7.3 設計・開発」の適用業務	「7.4 調達」の適用業務	
原子炉格納施設	圧力低減設備 その他の安全設備	原子炉格納容器安全設備	低圧代替注水系	ろ過装置	可搬型 Y 型ストレーナ (7 号機設備, 6, 7 号機共用)	II	○	○	
				安全弁及び逃がし弁	E11-F051A, B, C	既設設備であり, 当時の調達管理に基づき実施している。			
				主配管 (スプレッドヘッドを含む。)	復水給水系 代替注水配管復水給水系 (A) 合流部～原子炉压力容器	既設設備であり, 当時の調達管理に基づき実施している。			
					復水給水系 代替注水系配管 B21-F056A 出口合流部～代替注水配管復水給水系 (A) 合流部	既設設備であり, 当時の調達管理に基づき実施している。			
					残留熱除去系 低圧代替注水配管残留熱除去系 (A) 合流部～代替注水系配管 B21-F056A 出口合流部	既設設備であり, 当時の調達管理に基づき実施している。			
					残留熱除去系 低圧代替注水配管残留熱除去系 (B) 合流部	既設設備であり, 当時の調達管理に基づき実施している。			
					残留熱除去系 低圧代替注水配管残留熱除去系 (B) 合流部～原子炉压力容器	既設設備であり, 当時の調達管理に基づき実施している。			
					高圧炉心注水系 E22-F021, F022, F023～高圧炉心注水系集合管	既設設備であり, 当時の調達管理に基づき実施している。			
					高圧炉心注水系 高圧炉心注水系集合管～P13-F011	既設設備であり, 当時の調達管理に基づき実施している。			
					補給水系 P13-F011～低圧代替注水系合流部	既設設備であり, 当時の調達管理に基づき実施している。			
					補給水系 補給水系復水移送ポンプ出口分岐部～低圧代替注水系 (A), (B) 分岐部	既設設備であり, 当時の調達管理に基づき実施している。			
					補給水系 低圧代替注水系 (A), (B) 分岐部	既設設備であり, 当時の調達管理に基づき実施している。			
					補給水系 低圧代替注水系 (A), (B) 分岐部～低圧代替注水系配管 (A) 分岐部	既設設備であり, 当時の調達管理に基づき実施している。			
					補給水系 低圧代替注水系配管 (A) 分岐部	既設設備であり, 当時の調達管理に基づき実施している。			
補給水系 復水補給水系可搬式注水配管合流部～E11-F055A	既設設備であり, 当時の調達管理に基づき実施している。								
残留熱除去系 E11-F055A～E11-F032A	既設設備であり, 当時の調達管理に基づき実施している。								

発電用原子炉施設の 種類	設備区分		系統名	機器区分	機器名称	品質管理 グレード	保安規定品質マネジメントシステム計画		備考
							「7.3 設計・開発」 の適用業務	「7.4 調達」 の適用業務	
原子 炉 格 納 施 設	圧力低減設備 その他の安全 設備	原子炉格納容器安 全設備	低圧代替 注水系	主配管（スプレ イヘッドを含 む。）	残留熱除去系 E11-F032A～低圧代替注水配管残留熱除去系(A)合流部	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					補給水系 復水補給水系(A)外部注水配管合流部～低圧代替注水系配管(A)分岐部	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					補給水系 低圧代替注水系(A)、(B)分岐部～復水補給水系(B)外部注水配管合流部	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					補給水系 復水補給水系(B)外部注水配管合流部～E11-F055B	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					残留熱除去系 E11-F055B～E11-F032B	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					残留熱除去系 E11-F032B～低圧代替注水配管残留熱除去系(B)合流部	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					補給水系 低圧代替注水系配管(A)分岐部～復水補給水系可搬式注水配管合流部	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					補給水系 復水補給水系可搬式注水配管合流部	II	○	○	
					補給水系 復水補給水系可搬式接続口(東)～復水補給水系可搬式接続口(屋内東)	II	○	○	
					補給水系 復水補給水系可搬式接続口(屋内西)～復水補給水系可搬式注水配管合流部	II	○	○	
					補給水系 復水補給水系接続口(東)～復水補給水系(A)外部注水配管合流部	II	○	○	
					補給水系 復水補給水系(A)外部注水配管合流部	II	○	○	
					補給水系 復水補給水系(B)外部注水配管合流部	II	○	○	
					補給水系 復水補給水系接続口(南)～復水補給水系(B)外部注水配管合流部	II	○	○	
補給水系 復水貯蔵槽～E22-F021, F022, F023	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。								
補給水系 復水貯蔵槽～制御棒駆動系分岐部	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。								

発電用原子炉施設の種類	設備区分		系統名	機器区分	機器名称	品質管理グレード	保安規定品質マネジメントシステム計画		備考
							「7.3 設計・開発」の適用業務	「7.4 調達」の適用業務	
原子炉格納施設	圧力低減設備 その他の安全設備	原子炉格納容器安全設備	低圧代替注水系	主配管（スプレイヘッドを含む。）	補給水系 制御棒駆動系分岐部～低圧代替注水系合流部	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					補給水系 低圧代替注水系合流部～復水移送ポンプ	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					補給水系 復水移送ポンプ～補給水系復水移送ポンプ出口分岐部	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					代替給水設備 可搬型代替注水ポンプ屋内用 20mホース	設工認申請時点において調達未実施である。			
					代替給水設備 可搬型代替注水ポンプ屋外用 20mホース（7号機設備、6,7号機共用）	Ⅲ	○	○	
			ポンプ	ほう酸水注入系ポンプ	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。				
			容器	ほう酸水注入系貯蔵タンク	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。				
		ほう酸水注入系	安全弁及び逃がし弁	C41-F014	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。				
				C41-F003A, B	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。				
			主配管（スプレイヘッドを含む。）	高圧炉心注水系 ほう酸水注入系合流部～原子炉圧力容器	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。				
		ほう酸水注入系 ほう酸水注入系貯蔵タンク～ほう酸水注入系ポンプ		既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。					
		ほう酸水注入系 ほう酸水注入系ポンプ～ほう酸水注入系合流部		既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。					
		放射線物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備	非常用ガス処理系	加熱器	非常用ガス処理系乾燥装置	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
				主要弁	T22-F001A, B	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					T22-F002A, B	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			

発電用原子炉施設の種類	設備区分		系統名	機器区分	機器名称	品質管理グレード	保安規定品質マネジメントシステム計画		備考
							「7.3 設計・開発」の適用業務	「7.4 調達」の適用業務	
原子炉格納施設	圧力低減設備 その他の安全設備	放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備	非常用ガス処理系	主要弁	T22-F004A, B				既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。
				主配管	非常用ガス処理系 原子炉建屋原子炉区域～原子炉建屋原子炉区域入口配管分岐部			既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。	
					非常用ガス処理系 原子炉建屋原子炉区域入口配管分岐部～非常用ガス処理系不活性ガス配管合流部			既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。	
					非常用ガス処理系 非常用ガス処理系不活性ガス配管合流部～非常用ガス処理系乾燥装置(A)			既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。	
					非常用ガス処理系 原子炉建屋原子炉区域入口配管分岐部～非常用ガス処理系乾燥装置(B)			既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。	
					非常用ガス処理系 非常用ガス処理系乾燥装置			既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。	
					非常用ガス処理系 非常用ガス処理系乾燥装置(A)及び(B)～非常用ガス処理系排風機			既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。	
					非常用ガス処理系 非常用ガス処理系排風機～非常用ガス処理系フィルタ装置			既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。	
					非常用ガス処理系 非常用ガス処理系フィルタ装置			既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。	
					非常用ガス処理系 非常用ガス処理系フィルタ装置～T22-F004A, B			既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。	
					非常用ガス処理系 T22-F004A, B～非常用ガス処理系窒素パージライン(A)合流部及び非常用ガス処理系窒素パージライン(B)合流部			既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。	
					非常用ガス処理系 非常用ガス処理系窒素パージライン(A)合流部及び非常用ガス処理系窒素パージライン(B)合流部～耐圧強化ベントライン合流部			既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。	
					非常用ガス処理系 耐圧強化ベントライン合流部～主排気筒			既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。	
					非常用ガス処理系 T31-F020～非常用ガス処理系不活性ガス配管合流部			既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。	

発電用原子炉施設の 種類	設備区分		系統名	機器区分	機器名称	品質管理 グレード	保安規定品質マネジメントシステム計画			備考
							「7.3 設計・開発」 の適用業務	「7.4 調達」 の適用業務		
原子 炉 格 納 施 設	圧力低減設備 その他の安全 設備	放射性物質濃度制 御設備及び可燃性 ガス濃度制御設備 並びに格納容器再 循環設備	非常用ガ ス処理系	排風機	非常用ガス処理系排風機		既設設備であり、当時の調達管理に基づき 実施している。			
				フィルター	非常用ガス処理系フィルタ装置		既設設備であり、当時の調達管理に基づき 実施している。			
			可燃性ガ ス濃度制 御系	加熱器	可燃性ガス濃度制御系再結合装置加熱器	I	○	○		
				安全弁及び逃が し弁	T49-F009		既設設備であり、当時の調達管理に基づき 実施している。			
					T49-F015	I	○	○		
				主要弁	T49-F001A, B		既設設備であり、当時の調達管理に基づき 実施している。			
					T49-F003A, B		既設設備であり、当時の調達管理に基づき 実施している。			
					T49-F007A, B		既設設備であり、当時の調達管理に基づき 実施している。			
					T49-F008A, B		既設設備であり、当時の調達管理に基づき 実施している。			
				主配管	可燃性ガス濃度制御系 ドライウェル～可燃性ガ ス濃度制御系再結合装置(A)	I	○	○		
					可燃性ガス濃度制御系 ドライウェル～可燃性ガ ス濃度制御系再結合装置(B)	I	○	○		
					可燃性ガス濃度制御系 可燃性ガス濃度制御系再 結合装置(A)～サブプレッションチェンバ	I	○	○		
					可燃性ガス濃度制御系 可燃性ガス濃度制御系再 結合装置(B)～フィルタベントドレン移送ライン 合流部		既設設備であり、当時の調達管理に基づき 実施している。			
					可燃性ガス濃度制御系 フィルタベントドレン移 送ライン合流部～サブプレッションチェンバ	I	○	○		
				ブロワ	可燃性ガス濃度制御系再結合装置ブロワ	I	○	○		
再結合装置	可燃性ガス濃度制御系再結合装置	I	○	○						

発電用原子炉施設の 種類	設備区分		系統名	機器区分	機器名称	品質管理 グレード	保安規定品質マネジメントシステム計画		備考			
							「7.3 設計・開発」 の適用業務	「7.4 調達」 の適用業務				
原子 炉 格 納 施 設	圧力低減設備 その他の安全 設備	放射性物質濃度制 御設備及び可燃性 ガス濃度制御設備 並びに格納容器再 循環設備	可燃性ガ ス濃度制 御系	再結合装置	可燃性ガス濃度制御系再結合装置内配管 可燃性 ガス濃度制御系再結合装置入口～可燃性ガス濃度 制御系再結合装置ブロウ合流部	I	○	○				
					可燃性ガス濃度制御系再結合装置内配管 可燃性 ガス濃度制御系再結合装置ブロウ合流部～可燃性 ガス濃度制御系再結合装置ブロウ	I	○	○				
					可燃性ガス濃度制御系再結合装置内配管 可燃性 ガス濃度制御系再結合装置ブロウ～可燃性ガス濃 度制御系再結合装置冷却器出口	I	○	○				
					可燃性ガス濃度制御系再結合装置内配管 可燃性 ガス濃度制御系再結合装置冷却器出口～可燃性ガ ス濃度制御系再結合装置出口	I	○	○				
					可燃性ガス濃度制御系再結合装置内配管 可燃性 ガス濃度制御系再結合装置気水分離器～可燃性ガ ス濃度制御系再結合装置ブロウ合流部	I	○	○				
						水素濃度 抑制系	再結合装置	静的触媒式水素再結合器	I	○	○	
						耐圧強化 ベント系	圧縮機	可搬型窒素供給装置 (7号機設備, 6,7号機共用)	I	○	○	
					容器		遠隔空気駆動弁操作ボンベ	I	○	○		
					主配管			不活性ガス系 耐圧強化ベントライン分岐部～耐 圧強化ベントバイパスライン分岐部	既設設備であり, 当時の調達管理に基づき 実施している。			
								不活性ガス系 耐圧強化ベントバイパスライン分 岐部～T31-F072	I	○	○	
								格納容器圧力逃がし装置 耐圧強化ベントバイパ スライン分岐部～耐圧強化ベントバイパスライン 合流部	既設設備であり, 当時の調達管理に基づき 実施している。			
							格納容器圧力逃がし装置 T31-F072～耐圧強化ベ ントバイパスライン合流部	I	○	○		
							格納容器圧力逃がし装置 耐圧強化ベントバイパ スライン合流部～格納容器フィルタベントライン 分岐部	既設設備であり, 当時の調達管理に基づき 実施している。				

発電用原子炉施設の 種類	設備区分		系統名	機器区分	機器名称	品質管理 グレード	保安規定品質マネジメントシステム計画		備考
							「7.3 設計・開発」 の適用業務	「7.4 調達」 の適用業務	
原子 炉 格 納 施 設	圧力低減設備 その他の安全 設備	放射性物質濃度制 御設備及び可燃性 ガス濃度制御設備 並びに格納容器再 循環設備	耐圧強化 ベント系	主配管	非常用ガス処理系 格納容器フィルタベントライ ン分岐部～耐圧強化ベントライン合流部	既設設備であり、当時の調達管理に基づき 実施している。			
					耐圧強化ベント系 耐圧強化ベント窒素パージラ イン接続口～T22-F202A 及び T22-F202B	I	○	○	
					非常用ガス処理系 T22-F202A 及び T22-F202B～非 常用ガス処理系窒素パージライン(A)合流部及び 非常用ガス処理系窒素パージライン(B)合流部	I	○	○	
					非常用ガス処理系 耐圧強化ベントライン合流部 ～主排気筒	既設設備であり、当時の調達管理に基づき 実施している。			
					非常用ガス処理系 非常用ガス処理系窒素パージ ライン(A)合流部及び非常用ガス処理系窒素パー ジライン(B)合流部～耐圧強化ベントライン合流 部	既設設備であり、当時の調達管理に基づき 実施している。			
					不活性ガス系 サプレッションチェンバ～不活性 ガス系非常用ガス処理配管分岐部	既設設備であり、当時の調達管理に基づき 実施している。			
					不活性ガス系 不活性ガス系非常用ガス処理配管 分岐部～ドライウエル・サプレッションチェンバ 合流部	既設設備であり、当時の調達管理に基づき 実施している。			
					不活性ガス系 ドライウエル・サプレッションチ ェンバ合流部～耐圧強化ベントライン分岐部	既設設備であり、当時の調達管理に基づき 実施している。			
					格納容器圧力逃がし装置 可搬型窒素供給装置用 20m ホース (7号機設備, 6,7号機共用)	I	○	○	
			格納容器 圧力逃が し装置	ポンプ	ドレン移送ポンプ	I	○	○	
					スクラバ水 pH 制御設備用ポンプ (7号機設備, 6,7 号機共用)	I	○	○	
					可搬型代替注水ポンプ (A-2 級) (7号機設備, 6,7 号機共用)	—	○	—	原子力部門外の部署が 調達しているため、品質 管理グレードは対象外 である。
				圧縮機	可搬型窒素供給装置 (7号機設備, 6,7号機共用)	I	○	○	
				容器	ドレンタンク	I	○	○	
			フィルタ装置		I	○	○		

発電用原子炉施設の種類	設備区分		系統名	機器区分	機器名称	品質管理グレード	保安規定品質マネジメントシステム計画		備考
							「7.3 設計・開発」の適用業務	「7.4 調達」の適用業務	
原子炉格納施設	圧力低減設備 その他の安全設備	放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備	格納容器 圧力逃がし装置	容器	よう素フィルタ	I	○	○	
					遠隔空気駆動弁操作ポンベ	I	○	○	
				主要弁	T31-F019	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					T31-F022	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					T31-F070	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					T31-F072	I	○	○	
					T61-F001	I	○	○	
				主配管	可燃性ガス濃度制御系 フィルタベントドレン移送ライン合流部～サブプレッションチェンバ	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					不活性ガス系 耐圧強化ベントライン分岐部～耐圧強化ベントバイパスライン分岐部	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					不活性ガス系 耐圧強化ベントバイパスライン分岐部～T31-F072	I	○	○	
					格納容器圧力逃がし装置 耐圧強化ベントバイパスライン分岐部～耐圧強化ベントバイパスライン合流部	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					格納容器圧力逃がし装置 T31-F072～耐圧強化ベントバイパスライン合流部	I	○	○	
					格納容器圧力逃がし装置 耐圧強化ベントバイパスライン合流部～格納容器フィルタベントライン分岐部	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					不活性ガス系 ドライウエル～ドライウエル・サブプレッションチェンバ合流部	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					不活性ガス系 サプレッションチェンバ～不活性ガス系非常用ガス処理配管分岐部	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					不活性ガス系 不活性ガス系非常用ガス処理配管分岐部～ドライウエル・サブプレッションチェンバ合流部	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			

発電用原子炉施設の 種類	設備区分		系統名	機器区分	機器名称	品質管理 グレード	保安規定品質マネジメントシステム計画		備考
							「7.3 設計・開発」 の適用業務	「7.4 調達」 の適用業務	
原子 炉 格 納 施 設	圧力低減設備 その他の安全 設備	放射性物質濃度制 御設備及び可燃性 ガス濃度制御設備 並びに格納容器再 循環設備	格納容器 圧力逃が し装置	主配管	不活性ガス系 ドライウェル・サブプレッションチ ェンバ合流部～耐圧強化ベントライン分岐部	既設設備であり、当時の調達管理に基づき 実施している。			
					格納容器圧力逃がし装置 格納容器フィルタベン トライン分岐部～格納容器フィルタベントライン 窒素パージライン合流部	I	○	○	
					格納容器圧力逃がし装置 格納容器フィルタベン トライン窒素パージライン合流部～フィルタ装置 入口ノズル	I	○	○	
					格納容器圧力逃がし装置 フィルタ装置出口ノズ ル～よう素フィルタ入口分岐部	I	○	○	
					格納容器圧力逃がし装置 よう素フィルタ入口分 岐部～よう素フィルタ(A)入口ノズル	I	○	○	
					格納容器圧力逃がし装置 よう素フィルタ入口分 岐部～よう素フィルタ(B)入口ノズル	I	○	○	
					格納容器圧力逃がし装置 よう素フィルタ(A)出 口ノズル～ベントガス放出ライン合流部	I	○	○	
					格納容器圧力逃がし装置 よう素フィルタ(B)出 口ノズル～ドレンタンクライン分岐部	I	○	○	
					格納容器圧力逃がし装置 ドレンタンクライン分 岐部～ベントガス放出ライン合流部	I	○	○	
					格納容器圧力逃がし装置 ベントガス放出ライ ン合流部～原子炉建屋頂部放出口	I	○	○	
					格納容器圧力逃がし装置 格納容器フィルタベン ト窒素パージライン接続口～格納容器フィルタベ ントライン窒素パージライン合流部	I	○	○	
					格納容器圧力逃がし装置 ドレンタンクライン分 岐部～ドレンタンク入口ノズル	I	○	○	
					格納容器圧力逃がし装置 ドレンタンク出口ノズ ル～ドレン移送ポンプ入口ライン合流部	I	○	○	
					格納容器圧力逃がし装置 フィルタ装置～ドレン 移送ポンプ入口ライン合流部	I	○	○	

発電用原子炉施設の 種類	設備区分		系統名	機器区分	機器名称	品質管理 グレード	保安規定品質マネジメントシステム計画		備考
							「7.3 設計・開発」 の適用業務	「7.4 調達」 の適用業務	
原子炉格納施設	圧力低減設備 その他の安全 設備	放射性物質濃度制 御設備及び可燃性 ガス濃度制御設備 並びに格納容器再 循環設備	格納容器 圧力逃がし装置	主配管	格納容器圧力逃がし装置 ドレン移送ポンプ入口 ライン合流部～ドレン移送ポンプ分岐部	I	○	○	
					格納容器圧力逃がし装置 ドレン移送ポンプ分岐 部～ドレン移送ポンプ(A)	I	○	○	
					格納容器圧力逃がし装置 ドレン移送ポンプ分岐 部～ドレン移送ポンプ(B)	I	○	○	
					格納容器圧力逃がし装置 ドレン移送ポンプ(A) ～ドレン移送ポンプ出口合流部	I	○	○	
					格納容器圧力逃がし装置 ドレン移送ポンプ(B) ～ドレン移送ポンプ出口合流部	I	○	○	
					格納容器圧力逃がし装置 ドレン移送ポンプ出口 合流部～ドレン移送ポンプ窒素バージライン合流 部	I	○	○	
					格納容器圧力逃がし装置 ドレン移送ポンプ窒素 バージライン合流部～T49-F020	I	○	○	
					可燃性ガス濃度制御系 T49-F020～フィルタベン トドレン移送ライン合流部	I	○	○	
					格納容器圧力逃がし装置 ドレン移送ライン窒素 バージライン接続口～ドレン移送ポンプ窒素バー ジライン合流部	I	○	○	
					格納容器圧力逃がし装置 フィルタ装置補給用接 続口～フィルタ装置	I	○	○	
					代替給水設備 可搬型代替注水ポンプ屋外用 20m ホース (7号機設備, 6,7号機共用)	III	○	○	
					格納容器圧力逃がし装置 可搬型窒素供給装置用 20m ホース (7号機設備, 6,7号機共用)	I	○	○	
					格納容器圧力逃がし装置 スクラバ水 pH 制御設備 用 3m, 5m ホース (7号機設備, 6,7号機共用)	I	○	○	
				フィルター	フィルタ装置	I	○	○	
	よう素フィルタ	I	○	○					

発電用原子炉施設の種類	設備区分		系統名	機器区分	機器名称	品質管理グレード	保安規定品質マネジメントシステム計画		備考
							「7.3 設計・開発」の適用業務	「7.4 調達」の適用業務	
原子炉格納施設	圧力低減設備 その他の安全設備	原子炉格納容器調気設備	不活性ガス系	主要弁	T31-F001	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					T31-F002	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					T31-F003	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					T31-F010	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					T31-F011	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					T31-F012	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					T31-F016	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					T31-F019	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					T31-F020	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					T31-F021	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
				T31-F022	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。				
				主配管	不活性ガス系 原子炉区域・タービン区域換気空調系～不活性ガス系原子炉区域・タービン区域空調配管合流部	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					不活性ガス系 不活性ガス系原子炉区域・タービン区域空調配管合流部～不活性ガス系ドライウェル入口配管合流部及び不活性ガス系サブプレッションチェンバ入口配管合流部	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			

発電用原子炉施設の種類の種類	設備区分		系統名	機器区分	機器名称	品質管理グレード	保安規定品質マネジメントシステム計画		備考
							「7.3 設計・開発」の適用業務	「7.4 調達」の適用業務	
原子炉格納施設	圧力低減設備 その他の安全設備	原子炉格納容器調気設備	不活性ガス系	主配管	不活性ガス系 不活性ガス系ドライウエル入口配管合流部及び不活性ガス系サブプレッションチェンバ入口配管合流部～ドライウエル及びサブプレッションチェンバ	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					不活性ガス系 窒素補給用配管 5,6 号機取合点～T31-F010	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					不活性ガス系 T31-F010～不活性ガス系ドライウエル入口配管合流部及び不活性ガス系サブプレッションチェンバ入口配管合流部	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					不活性ガス系 窒素パーズ用配管 5,6 号機取合点～T31-F016	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					不活性ガス系 T31-F016～不活性ガス系原子炉区域・タービン区域空調配管合流部	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					不活性ガス系 ドライウエル～ドライウエル・サブプレッションチェンバ合流部	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					不活性ガス系 サブプレッションチェンバ～不活性ガス系非常用ガス処理配管分岐部	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					不活性ガス系 不活性ガス系非常用ガス処理配管分岐部～ドライウエル・サブプレッションチェンバ合流部	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					不活性ガス系 ドライウエル・サブプレッションチェンバ合流部～耐圧強化ベントライン分岐部	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					不活性ガス系 不活性ガス系非常用ガス処理配管分岐部～T31-F020	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
	圧力逃がし装置	格納容器 圧力逃がし装置	容器	ドレンタンク	I	○	○		
				フィルタ装置	I	○	○		
				よう素フィルタ	I	○	○		
				遠隔空気駆動弁操作作用ボンベ	I	○	○		
		主要弁	T31-F070	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。					
			T31-F072	I	○	○			

発電用原子炉施設の 種類	設備区分		系統名	機器区分	機器名称	品質管理 グレード	保安規定品質マネジメントシステム計画		備考
							「7.3 設計・開発」 の適用業務	「7.4 調達」 の適用業務	
原子炉格納施設	圧力低減設備 その他の安全 設備	圧力逃がし装置	格納容器 圧力逃がし装置	主要弁	T61-F001	I	○	○	
					T31-F019	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					T31-F022	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
				圧力開放板	ラプチャーディスク（フィルタ装置出口側）	I	○	○	
					ラプチャーディスク（よう素フィルタ出口側）	I	○	○	
				主配管	格納容器圧力逃がし装置 格納容器フィルタベントライン分岐部～格納容器フィルタベントライン窒素パージライン合流部	I	○	○	
					格納容器圧力逃がし装置 格納容器フィルタベントライン窒素パージライン合流部～フィルタ装置入口ノズル	I	○	○	
					格納容器圧力逃がし装置 フィルタ装置出口ノズル～よう素フィルタ入口分岐部	I	○	○	
					格納容器圧力逃がし装置 よう素フィルタ入口分岐部～よう素フィルタ(A)入口ノズル	I	○	○	
					格納容器圧力逃がし装置 よう素フィルタ入口分岐部～よう素フィルタ(B)入口ノズル	I	○	○	
					格納容器圧力逃がし装置 よう素フィルタ(A)出口ノズル～ベントガス放出ライン合流部	I	○	○	
					格納容器圧力逃がし装置 よう素フィルタ(B)出口ノズル～ドレンタンクライン分岐部	I	○	○	
					格納容器圧力逃がし装置 ドレンタンクライン分岐部～ベントガス放出ライン合流部	I	○	○	
					格納容器圧力逃がし装置 ベントガス放出ライン合流部～原子炉建屋頂部放出口	I	○	○	
					格納容器圧力逃がし装置 格納容器フィルタベント窒素パージライン接続口～格納容器フィルタベントライン窒素パージライン合流部	I	○	○	

発電用原子炉施設の 種類	設備区分		系統名	機器区分	機器名称	品質管理 グレード	保安規定品質マネジメントシステム計画		備考
							「7.3 設計・開発」 の適用業務	「7.4 調達」 の適用業務	
原子 炉 格 納 施 設	圧力低減設備 その他の安全 設備	圧力逃がし装置	格納容器 圧力逃が し装置	主配管	格納容器圧力逃がし装置 ドレンタンクライン分岐部～ドレンタンク入口ノズル	I	○	○	
					格納容器圧力逃がし装置 ドレンタンク出口ノズル～ドレン移送ポンプ入口ライン合流部	I	○	○	
					格納容器圧力逃がし装置 フィルタ装置～ドレン移送ポンプ入口ライン合流部	I	○	○	
					格納容器圧力逃がし装置 ドレン移送ポンプ入口ライン合流部～ドレン移送ポンプ分岐部	I	○	○	
					格納容器圧力逃がし装置 ドレン移送ポンプ分岐部～ドレン移送ポンプ(A)	I	○	○	
					格納容器圧力逃がし装置 ドレン移送ポンプ分岐部～ドレン移送ポンプ(B)	I	○	○	
					格納容器圧力逃がし装置 ドレン移送ポンプ(A)～ドレン移送ポンプ出口合流部	I	○	○	
					格納容器圧力逃がし装置 ドレン移送ポンプ(B)～ドレン移送ポンプ出口合流部	I	○	○	
					格納容器圧力逃がし装置 ドレン移送ポンプ出口合流部～ドレン移送ポンプ窒素バージライン合流部	I	○	○	
					格納容器圧力逃がし装置 ドレン移送ポンプ窒素バージライン合流部～T49-F020	I	○	○	
					可燃性ガス濃度制御系 T49-F020～フィルタベントドレン移送ライン合流部	I	○	○	
					格納容器圧力逃がし装置 ドレン移送ライン窒素バージライン接続口～ドレン移送ポンプ窒素バージライン合流部	I	○	○	
					格納容器圧力逃がし装置 フィルタ装置補給用接続口～フィルタ装置	I	○	○	
					可燃性ガス濃度制御系 フィルタベントドレン移送ライン合流部～サブプレッションチェンバ	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
不活性ガス系 耐圧強化ベントライン分岐部～耐圧強化ベントバイパスライン分岐部	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。								

発電用原子炉施設の種類の種類	設備区分		系統名	機器区分	機器名称	品質管理グレード	保安規定品質マネジメントシステム計画		備考
							「7.3 設計・開発」の適用業務	「7.4 調達」の適用業務	
原子炉格納施設	圧力低減設備 その他の安全設備	圧力逃がし装置	格納容器 圧力逃がし装置	主配管	不活性ガス系 耐圧強化ベントバイパスライン分岐部～T31-F072	I	○	○	
					格納容器圧力逃がし装置 耐圧強化ベントバイパスライン分岐部～耐圧強化ベントバイパスライン合流部	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					格納容器圧力逃がし装置 T31-F072～耐圧強化ベントバイパスライン合流部	I	○	○	
					格納容器圧力逃がし装置 耐圧強化ベントバイパスライン合流部～格納容器フィルタベントライン分岐部	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					不活性ガス系 ドライウエル～ドライウエル・サブプレッションチェンバ合流部	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					不活性ガス系 サプレッションチェンバ～不活性ガス系非常用ガス処理配管分岐部	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					不活性ガス系 不活性ガス系非常用ガス処理配管分岐部～ドライウエル・サブプレッションチェンバ合流部	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					不活性ガス系 ドライウエル・サブプレッションチェンバ合流部～耐圧強化ベントライン分岐部	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。			
					格納容器圧力逃がし装置 スクラバ水 pH 制御設備用 3m, 5m ホース (7号機設備, 6, 7号機共用)	I	○	○	
					代替給水設備 可搬型代替注水ポンプ屋外用 20m ホース (7号機設備, 6, 7号機共用)	III	○	○	
				格納容器圧力逃がし装置 可搬型窒素供給装置用 20m ホース (7号機設備, 6, 7号機共用)	I	○	○		
				フィルター	フィルタ装置	I	○	○	
					よう素フィルタ	I	○	○	

注記* : 「一」は、該当する系統が存在しない場合、又は実用炉規則別表第二を細分化した際に、該当する設備区分名称が存在しない場合を示す。